

現病歴

X年9月初旬	おにぎりを食べることはできたが、その他の食べ物で苦みを感じることがあり、痰や胃内容物が逆流しているように感じるようになった。また歩行障害の悪化も認めていたためにB整形外科を受診し頸椎MRIにて脊髄圧迫所見を認めたが、身体症状もあるため当院整形外科を紹介された。その際、身体症状の訴えや 体重減少 (BMI:16.9)を認めたことから、当科を紹介受診した。
	投薬治療を開始したが、内服後に腹部症状など身体的な副作用が出現した。副作用にめまいという記載があることを知り、転倒して頸椎を痛めるのではないかと不安になり当科病棟へ電話し、早期の外来受診を勧められたが、受診の同意は得られなかった。
	頸椎を激しく動かすなど衝動的な自傷行為があり、その後から左上下肢の麻痺が強くなり、呼吸困難、嚥下障害が悪化したと感じていた。
X年9月中旬	タオルで首を絞める自傷行為あり、口蓋垂の動きが悪くなり嚥下が悪化したように感じていた。
X年9月下旬	自宅に置いてあった灯油を両下肢にかけ、頭部に靴下で灯油をかけて自ら火をつけた。C病院に救急搬送され、同日当科へ医療保護入院となった。